

神奈川歯科大学附病院市民公開講座



日時：2019年11月30日（土） 14:00～

場所：神奈川歯科大学附属病院 12階 講堂 参加費無料
どなたでもご参加いただけます。当日病院へ直接おこしてください

「糖尿病ってどんな病気」

糖尿病は、血糖値が少し高いだけなら明らかな症状はありませんが、血糖コントロールの不良な状態が長く続くと、合併症が出現します。

下肢のしびれ(神経障害)、腎症、網膜症、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症等が合併症として知られています。

歯周病も糖尿病の慢性合併症の一つであり、血糖コントロールが不良であると、歯周病が進行しやすくなります。

そのため、糖尿病を合併した歯周病の治療には、その背後にある血糖値コントロールが重要となってきます。歯科治療において糖尿病の状態を把握することは大切であり、当院では歯科医と内科医が連携して治療を行っています

当日は、糖尿病全般について説明する予定です。

本講演が、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。



神奈川歯科大学附属病院

糖尿病・内分泌内科 教授 青木一孝

「病は口から！歯周病と循環器のかかわり」

歯周病は口だけの病気ではなく、全身と大きくかかわっていることがわかってきました。

糖尿病や循環器疾患、肺炎や早期低体重児出産などに関連が認められています。近年、医科歯科連携が求められています。

本講演では、歯周病と全身とのかかわりについて、特に循環器疾患を中心として、これまでの研究から明らかにされてきたことを解説します。

歯周病についての理解を深めていただければ幸いです



神奈川歯科大学附属病院

医科歯科連携センター 准教授 青山典生